

<理念・基本目標・運営方針>

(1) 理念

バウムハウスは、生きづらさを抱えた子どもたちのために存在し、時代を担い成長する施設であり続けます

(2) 基本目標

- ・子どもたち一人ひとりのあるがままを大切に「伝えあう」を積み重ねます
- ・あたたかな人間関係の中で自尊感情を回復させ、信頼と安心を育みます
- ・常に、支援の環境とそのあり方の向上を目指します
- ・地域福祉と子どもの最善の利益のために自己研鑽に努めます

(3) 運営方針

あたたかな見守りと、やわらかな癒しを支援者の基本姿勢とし、「わたしが、わたしであるために。きみが、きみであるために。」をテーマに、こどもたちのあるがままの存在を受け止め、信頼と安心・自律・自尊心の回復をめざすために、愛情に裏打ちされたバウムハウスの全ての機能を連帯させ協働していきます。

<総括>

令和5年度は、男子児童16名、女子児童12名の合計28名の入所児童でスタートし、年度内に9名の入所児童を迎え入れている。一方で、年度末までに退所する児童の合計が10名を予定している。

今年度も児童相談所からの施設の空き状況の問い合わせも含めた入所相談の件数は30件を超えた。相談のうち、学年の内訳は小中の割合は同じくらいの件数ではあったが、小学生は5年生に偏りがあり、学校の教室の関係で入所を制限しなければならず、お断りせざるを得ない状況となっている。また、道外からの問い合わせも3件ほどあったが、原則、道外からの入所はお断りさせていただいている。家庭で養育ができない背景として、子どもの示す様相に対して保護者が適切に対応できず、困り感を抱えているケースが圧倒的に多い。しかし、今年度も相談件数からみて3分の1の児童しか入所していないことになる。

バウムハウスに来る子どもたちの多くは、生来的な発達特性に加え、虐待やネグレクトなど、何らかのトラウマを抱えている。その子どもたちの示す様々な言動や考え方には、発達特性やトラウマを背景とした「自己表現」であると考えられている。しかし、そのような子どもたちと関係を構築していくためには、一般的な養育技術だけでは十分ではない。その「自己表現」がどんな意味を持つのかを子どもと一緒に探っていくことがとても大事である。つまり、保護者自身も子どもの示す「自己表現」をどう理解して良いかがわからず、行動化への対処に追われ、疲弊し、困り果てていることを考えると、子どもたちへの支援だけではなく、保護者へも手立てが必要なのは言うまでもない。

我々の使命は、子どもたちの示す言動の背景を理解し、受け止め、望ましい形へと立て直すことを繰り返すことで、子ども自身が解離された自己を統合し、安心感を回復させ、それを基盤として健康的な心身発達を遂げていくことである。一方で、保護者への手立てについても、児童相談所と協力をしながらどのように進めていくのは考えいかねばならない。

今年度は、新たに考えなければならないことが多く見えてきた年でもあった。次年度に向けて、まずは自分たちの支援を真摯に振り返り、子どもを中心に置いた支援とは何か、真剣に向き合っていかねばならないだろう。

<令和5年度事業報告>

(1) 事業目標

①施設の健全運営

・職員の状況

令和5年度は、年間を通して児童指導員3:1、心理療法担当職員加算0名であった。

令和6年度は、児童指導員と保育士については、令和5年度末退職者2名、令和6年度入職者2名となることから令和5年度と同じ配置となる。また、心理療法担当職員については、入職者がいないため加算0名となる。

・入所児童の状況

令和5年度は定員50名に対し暫定定員38名となる見込であったが、本年度も厚生労働省より「新型コロナウイルス感染症に係る暫定定員設定の取り扱いについて」の連絡があり、入所児童の減少が考慮された算定方法が採用され、その結果暫定定員39名となることが出来た。ただし、令和6年度については、令和5年度より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となったことに伴い、これまでのような措置はとられないとになったため、令和6年度の暫定定員は37名になる見込である。

入所児童数は、前年度比2名減の9名、退所数は前年比1名減の9名であった。令和6年度のスタートは令和5年度同様に28名となる。

令和5年度各月初日児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	16	17	18	18	17	17	17	17	16	16	16	16	201
女	12	13	13	12	13	13	13	13	13	14	15	15	159
計	28	30	31	30	30	30	30	30	29	30	31	31	360
入所	0	2	1	0	1	0	0	0	1	0	2	2	9
退所	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	5	9
一保	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2

※退所理由：家庭復帰6名、措置変更等（施設変更）3名

・情報共有

ファイル共有サーバーの他、児童の個別記録を管理する「情報共有システム」、スケジュール管理の「aipo」、ビジネスチャットツール「chatwork」を場面に応じて活用している。

・情報公開

事業計画書に沿った内容をウェブサイトで引き続き公開を行ってきた。

②子どもの権利擁護

・個人情報の保護

常日頃、情報の漏洩に注意喚起を行っており、必要時以外の施設外への持ち出しありは行わないよう徹底した。また、SNSなどインターネットを利用した発信への注意喚起を行なった。

・苦情解決相談

今年度も日常の些細なトラブルやクレームであっても苦情と同様にして取り扱い、記録に残すこととはもちろん再発の防止に役立てた。また、日常的に児童との会話や面接などを丁寧に行うことにより、日頃から抱いている思いを汲み取り不満の解消に取り組んだ。

令和5年度の受付件数は0件であった。（令和4年度 受付件数0件）

・被措置児童虐待の防止

子どもたちが安全かつ安心して生活ができるよう被措置児童虐待の未然防止について職員全体会議等で研修を重ね意識化を図った。

・意見箱の活用

意見箱の開函は、原則子どもたちの登校日は毎日開函することとし、児童のさまざま意見に迅速に対応している。（年間意見数 計52件）

2023年度累計52件（2022年度 累計18件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0	30	0	2	2	3	2	4	1	1	2	5	52

③専門性の充実・強化

※（5）職員研修実績を参照

④リービングケア、アフターケアの充実・強化

- ・年2回の児童自立支援計画票の作成を通じて、児童の状態を施設全体で確認し必要な支援を検討し、次のステップを見据えた治療及び支援の展開を図っている。
- ・退所時に、退所後の不安を少しでも軽減できるよう、施設としてアフターフォローをする姿勢を示し、子どもやその保護者等からの相談を積極的に応じることが出来た。また、必要に応じ適切な機関に繋げる取り組みを行なった。

- ・新規入所児童の家庭に対し、担当するスタッフの氏名や交流のステップの当面の予定を郵送し、保護者に理解を得られるよう配慮してきた。担当職員と協議しながら、児童相談所の協力を得て、地域の関係機関、家庭訪問、学校訪問などを実施し、児童と家族が抱える家庭復帰の不安の軽減を図ってきた。また、退所した児童の通う学校との連携を継続し、児童と直接会って励まし、課題の整理を行う機会を設定した。また、家族、関係機関と児童の支援についても協議を行ってきた。

ケース協議 67回（リモート含む）

⑤家族に対する支援の強化

- ・平成 30 年度より継続して、家庭支援専門相談員を 2 名配置し、家族支援の強化を図っている。
 - ・バウムハウスの面会・交流、帰省のステップを基本とし、家庭支援、家族交流を積極的に行なうため、家庭状況に応じ、家族療法棟を活用した。交流方法について、児童相談所と連携を図り、検討の上実施することができ、家庭復帰に向け、週末帰省を実施しながら家庭調整を図ったケースを含め、順調にステップを重ねることができた。
 - ・児童の発達特性や必要な支援について、田中医師との保護者面接も実施している。
 - ・家庭支援専門相談員を主とした職員と保護者との面接回数は、24 家族で延べ 196 回。家族療法棟を活用した回数が延べ 9 回だった。新型コロナの影響がまだ残っているためか、家族の交流の機会が少なくなったこともあり回数は少なかった。

⑥施設機能の地域社会への貢献の取組み

- ・新型コロナの影響により途絶えていた取り組みであったが、今年度も地域貢献事業としてこれまで行なってきた講演会などは開催できなかった。

⑦関係機関連携による治療的ケア及び支援の取組み

※西胆振地区の特別支援教育の理解啓発や充実を図ることを目的に、平成18年に伊達高等養護学校、室蘭聾学校、室蘭養護学校の3校で組織した特別支援教育ネットワークが「西胆振地区特別支援教育ネットワーク」。対象となる市町は、室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町の6市町。開設当時は特殊教育から特別支援教育への移行の時期ということもあり、各特別支援学校が地域におけるセンター的な役割を果たすためにはどのようにすればよいのかを模索していた時期で、3校の管理職及び特別支援教育コーディネーターを中心となり、特別支援教育全般に関わる情報交換や研修を行うことなどを中心に活動した。現在では、上記の目的と併せて、3校それぞれの専門性を生かした役割や特別支援教育コーディネーターの在り方などについて検討している。

⑧子どもたちが安全で安心して生活するための取組み

・性教育委員会の取り組み

“発達面に課題の抱える子どもに対する性教育”というのを念頭に置き、“性に特化したものではなく誤った（未成熟な）対人関係が性問題へと発展する”と捉え、入所児童の基本課題

であるところの望ましい対人関係の獲得と、性指導のあり方について検討を行ってきた。

また、性知識のダイレクトな教育は極力避け、「人つきあいの学習」として、児童とともに「人とのつきあい方」を考える機会とすることで、行き過ぎたつきあい方に対する予防することをねらっていきたいと考えてきた。

子どもが性に関する疑問をふと思いついたときに、大人として正しく答えてあげることが一番の性教育と考える。そのような体制を作っていくことを次年度の柱のひとつにしたい。

<主な取り組み>

- ・人つきあいの学習（個別面接31回、グループ学習5回）
- ・性に特化した学習（個別学習6回）
- ・個別の補足的学習（個別学習1）
- ・境界線の学習（グループ学習1回）
- ・委員会会議（10回）

・事故等の報告

今年度発生した、施設内および学校での児童の怪我や事故（逸脱行動等）等は以下のとおりである。

一部を除いて胆振総合振興局、北海道室蘭児童相談所、措置児童相談所に事故報告書を提出し、必要に応じ事故後の対応についても適宜報告した。

⑨職員が意欲的に子どもたちと向き合うための職場環境の確保

・ストレス調査

厚生労働省のストレスチェック実施プログラムを利用し、年1回（5月）全職員のメンタルヘルス調査を実施し、必要に応じて適切な対応を行っている。

・労務管理状況

会議や児童の活動などで時間外労働の発生は最低限やむを得ないところがあるが、時間外労働の削減を意識し勤務調整等を行ないながら事業を推進している。また、時間外勤務等の大部分については、時間休や代休で処理をするように努め、実労働時間を減らしている。

今年度時間外労働が昨年より増えた要因には、女性職員が前年度より2名減となったところが大きく、かなりの負担となったことは否めない。

年次有給休暇については、勤務表作成時に、希望休をとれるようにしているため取得率が低くなる傾向がある。また働き方改革による年次有給休暇の指定義務化を踏まえ、今年度も有給休暇の取得を推進してきたところであったが、有休5日取得の達成率が100%となった。

時間外労働時間（対象：全職員（施設長、医師除く） 平均 28.67名）

年間	時間外	休日出勤	深夜業
合計時間	1074.00 (894.50)	683.50 (740.25)	20.00 (3.00)
一人平均	38.36 (31.95)	23.84 (25.90)	0.70 (0.10)
一人一月平均	3.20 (2.66)	1.99 (2.16)	0.06 (0.01)

年次有給休暇取得状況（対象：全職員（医師・施設管理員を除く） 月平均 31.2名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数計	28.5	17.0	22.5	22.0	29.0	30.5	24.5	42.0	30.5	17.0	4.5	37.0	305.0
時間計	10	13	9	7.0	6.0	8.0	12.0	1	14	0	22	0	102

取得率 = (今年度取得日数 305.0 日) / (付与日数 565 日) × 100 = 53.98%

有休5日取得達成者 32名 / 32名 達成率 100.00% (前年度達成率 81.82%)

※過去の年次有給休暇取得率

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
割合	34.17%	24.32%	37.34%	43.72%	34.95%	42.91%	51.64%

⑩地域との交流、地域貢献の取り組み

新型コロナウイルス感染症が感染拡大する前は、例年、福祉関係者のみならず教育関係者等の施設見学を多数受け入れることにより、また、講師派遣により児童心理治療施設への理解を広げる取り組みを行なってきたが、2023年度についても、新型コロナの影響がすくなくからずまだ

残っているようであった。

・施設見学・来所者

新型コロナウイルス感染症対策により、施設見学や施設入場を制限していた。

・講師等派遣

講師派遣			
4月	18日	北海道児童相談所・児童福祉施設心理職員合同研修会	心理士
5月	11日	星の丘小中学校研修	施設長
8月	21日	星の丘小中学校研修	心理士
10月	16日	北海道児童相談所新任職員研修会	児童指導員、心理士
12月	14日	令和5年度北海道児童相談所現任職員(3年目)研修会 「困った子どもへの支援～バウムハウスの実践から～」	心理士
委員派遣			
7月	4日	特別支援教育総合推進事業「特別支援教育の体制整備の推進」 第1回専門家チーム会議	心理士
2月	16日	第2回専門家チーム会議	心理士

・実習受入状況

主に保育士資格向けの実習生と社会福祉士養成の実習生を受け入れている。昨年度に引き続き感染対策を十分に配慮しながら実習を受け入れた。

保育士			
5月	22日	光塩学園女子短期大学(～6/3)	
6月	26日	光塩学園女子短期大学(～7/8)	
8月	17日	名寄市立大学(～8/29)	
8月	30日	【取り下げ】名寄市立大学(～9/11)	
11月	20日	北翔大学短期大学部(～12/1)	
心理			
9月	4日	北海道大学大学院(～9/18)	
10月	21日	北海道大学大学院(～10/30)	
社会福祉士			
8月	14日	北星学園大学(～9/14)	
9月	19日	星槎道都大学(～10/19)	
11月	6日	北星学園大学(～11/15)	
2月	26日	北星学園大学(～3/6)	

・Support School Education事業

趣旨 児童心理治療施設という種別の特性を活かした、心理治療に関するノウハウを活用した地域貢献事業を、学校教育と連携する中で展開する。

内容

- ・教育支援のより良い展開のために、発達障害を有する児童生徒の特性を理解する
- ・心理検査データの具体に基づき、児童生徒の特性を理解し、支援の個別化の方法について検討する。
- ・学校でのカンファレンスの同席
- ・その他

実績

7/18	伊達市立西小学校	支援課長・心理士
7/20	伊達市立東小学校	支援課長・心理士
7/20	伊達市立西小学校	支援課長・心理士
8/3	伊達市立大滝徳瞬別学校	心理士2名
1/17	伊達市立光陵中学校	支援課長・心理士

⑪社会的養護関係施設第三者評価の受審結果を踏まえた取り組み

2昨年度、3年に1回の第三者評価を受審したが、今年度は自己評価のみの年であった。昨年度の評価と自己評価の結果を基に業務改善計画を立て、治療支援の質の向上に向けた取り組みと適正な施設運営を目指している。

(2) 支援事業内容

①主な行事等

4月	3日	田中康雄先生診察日
	4日	高2女子事業所見学(帯広)
	7日	星の丘小中学校始業式
	8日	星の丘小中学校入学期
	10日	星の丘小中学校振替休校、田中康雄先生診察日 苫小牧分室来所(中3女子)、小5男子一時保護移送(旭川)
	11日	伊達高等養護学校入学式、全体会議、グループ会議
	13日	小5男子一時保護終了迎え(旭川)
	17日	田中康雄先生診察日、児童福祉施設心理職員合同研修会(～18日、札幌)
	18日	グループ会議、実務者会議、進路会議
	19日	BASE会議、苫小牧分室来所(中3女子)
	20日	中央児相来所(新規入所予定児童施設見学、小6男子面接)
	21日	釧路児相来所(新規入所予定児童施設見学)
	24日	田中康雄先生診察日、消防査察
	25日	グループ会議
	26日	給食委員会
	27日	帯広児相来所(中3女子面接)、札幌児相来所(中1男子面接) 小6男子リモート協議
5月	1日	星の丘小中学校開校記念日、田中康雄先生診察日、苫小牧分室来所
	2日	グループ会議
	4日	男子グループGW活動
	6日	女子グループGW活動
	8日	田中康雄先生診察日、厨房排水管清掃
	9日	グループ会議、室蘭児相来所(小5男子)
	10日	宮川雅美先生来所
	11日	退所児童協議(穂別高校)、室蘭児相来所(中3女子)
	12日	1階浴槽用ろ過機修理
	15日	田中康雄先生診察日
	16日	全体会議、グループ会議、第三者評価講評
	17日	旭川児相来所(小6女子)
	18日	全児心施設長会(17日前泊～19日、横浜市)、指導者研修(オンライン)
	19日	星の丘小中学校遠足
	20日	チャイボラ主催【北海道・東北エリア】児童養護施設などのオンライン見学フェア(オンライン)
	22日	田中康雄先生診察日、光塩学園女子短期大学実習(～6/3) いぶりネット会議(オンライン)
	23日	全体会議、グループ会議、苫小牧分室来所(中3女子協議)
	24日	誕生日会、中3男子リモート面会(岩見沢児相)
	25日	BASE会議、法人運営会議、退所児童要保護児童対策地域協議会(オンライン)、新規入所予定児童リモート面会(釧路児相)
	26日	第1回学校評価委員会、給食委員会、光塩学園女子短期大学実習担当教官来所
	29日	田中康雄先生診察日、苫小牧分室来所(中3女子面接) 児童相談所・児童福祉施設合同研修(～30日、札幌市)
	30日	グループ会議、入所予定児童リモート面会(6/1入所)
	31日	星の丘小中学校運動会総練習
6月	2日	公用車タイヤ交換
	3日	星の丘小中学校運動会
	5日	星の丘小中学校振替休校、田中康雄先生診察日 中央児相来所(男子児童3名面接)
	6日	グループ会議
	9日	岩見沢児相来所(小6女子協議)

12日	田中康雄先生診察日、旭川児相来所（中3男子面接）
13日	全体会議、グループ会議、函館児相来所（中2男子面会）
14日	札幌市児相来所施設見学5名
15日	法人運営会議、小山教授SV
19日	田中康雄先生診察日
20日	全体会議（性教育委員会研修）、グループ会議
21日	星の丘中学校3年生修学旅行（～23日）、チャボゼミ（オンライン）
22日	釧路児相リモート協議
24日	男子サイクリング活動①、退所児童アフターフォロー（富良野）
25日	男子サイクリング活動②
26日	田中康雄先生診察日、室児苦小牧分室来所（小4男子カンファレンス） 小5男子経過判定（室蘭児相）
27日	中3男子措置変更先施設見学（岩見沢） グループ会議、中3男子措置変更先予定施設見学（岩見沢）
28日	BASE会議、退所児童アフターフォロー（北広島） 中3男子リモート協議（保護者・学校）
29日	星の丘小学校6年修学旅行（～30日）
7月 3日	田中康雄先生診察日
4日	全体会議（内部研修）、グループ会議
5日	斜里町民生委員施設見学
7日	中3男子教育相談（北広島市）
10日	田中康雄先生診察日、中3男子教育相談（新篠津村） 中3女子措置変更先施設見学（仁木町）
11日	グループ会議
13日	BASE会議、法人運営会議
14日	特別支援教育進路指導協議会（オンライン）
18日	グループ会議
21日	室蘭養護学校1学期終業式、伊達高等養護学校1学期終業式 セブンイレブン贈呈式、中3女子一時帰省送り（苦小牧） 北海道児童養護施設協議会（札幌市） 退所児童アフターフォロー（むかわ町）
23日	福祉現場説明会（札幌市）
24日	星の丘小中学校1学期終業式、田中康雄先生診察日、 新規入所予定児童施設見学（旭川児相来所）
25日	男子グループ夏の活動①
26日	男子グループ夏の活動② 函館児相来所（中1女子面接）、星の丘・バウム進路会議
27日	女子グループ夏の活動①
28日	女子グループ夏の活動②
29日	夏休み一時帰省（～8/12）、中3女子一時帰省送り（苦小牧）
31日	田中康雄先生診察日、小6女子一時帰省送り（岩見沢） 中2男子一時帰省送り（函館）
8月 1日	小5男子一時帰省送り（旭川）、中1男子一時保護送り（札幌市） 胆振ネット研修会（室蘭）、旭川児相来所（小6女子面接）
2日	釧路児相施設連絡協議会、中3女子一時保護送り（千歳） 小4男子一時帰省送り（苦小牧）
3日	男子グループ臨時会議、SSE（大滝）
4日	中1女子日帰り交流（函館） 小5男子一時帰省迎え、小6男子一時帰省送り（旭川）
7日	田中康雄先生診察日、苦小牧市支援学校施設見学4名来所 旭川児相来所（中3男子面接）
8日	厨房監査、女子夏休み活動（室蘭水族館）
9日	高2女子、小5女子、中1女子送り（～10日、帯広・釧路）
14日	北星学園大学実習生（～9/14）
16日	伊達高等養護学校2学期始業式 小6男子一時帰省迎え（札幌）
17日	室蘭養護学校2学期始業式、第三者委員会、名寄市立大学実習生（～8/29） 北見児相新規入所予定児童施設見学

18日	星の丘小中学校始業式、チャボナビ施設見学
19日	中2男子留寿都高校見学
21日	田中康雄先生診察日、中央児相来所（小6男子協議） 星の丘小中学校講師派遣
22日	全体会議、グループ会議
24日	BASE会議、法人運営会議、沿槽用濾過器年次保守点検
28日	田中康雄先生診察日、岩見沢児相施設連絡協議会
29日	グループ会議
30日	給食委員会、退所児童協議（苫小牧）、高2女子グループホーム見学（帯広）
31日	小6男子経過判定・協議（札幌）
9月 1日	北星学園大学教授来所
4日	田中康雄先生診察日、北大大学院心理実習（～9/15）
5日	伊達市要対協代表者会議、第1回いいぶりWEB研修会（特別支援教育の充実）、習字クラブ（女子）
6日	習字クラブ（女子）
8日	苫小牧分室来所（中2女子）
9日	中3男子真狩高校体験入学（真狩村）
11日	【中止】田中康雄先生診察日、消防設備点検 札幌大学木村教授来所、函館短期大学川村教官来所、北大大学院教員来所
12日	全児心職員研修会（11日前泊～13日、埼玉県熊谷市） 旭川児相来所（小6女子面接）、習字クラブ（女子）
13日	全児心指導者研修（～14日、横浜）、函館児相来所（中1女子経過判定）
14日	小山教授SV、札児来所（中1男子経過診）
19日	中3男子教育相談（新篠津）、星槎道都大学実習（～10/19）、グループ会議
20日	小6女子面接（旭川）
21日	法人運営会議、小5男子要対協（Zoom）
22日	電気設備点検、星槎道都大学実習教官来所
25日	田中康雄先生診察日
26日	室蘭養護学校高2修学旅行（京都・大阪）、グループ会議
27日	函館児相来所（中1女子経過判定）
28日	BASE会議、中央児相来所研修打ち合わせ
29日	中3女子措置変更先施設見学（仁木町）、星槎道都大学実習教官来所 給食委員会
10月 2日	田中康雄先生診察日
3日	全体会議＆グループ会議
5日	児童心理治療施設新設・新任職員研修（～6日、横浜市）
7日	星の丘フェスティバル
8日	女子秋の登山活動①（昆布岳、女子4名、職員3名）
9日	女子秋の登山活動②（室蘭岳、女子1名、職員1名）
10日	星の丘小中学校振替休校、中3男子教育相談（雨竜町）
12日	旭川児相施設連絡協議会
13日	退所児童要対協（Zoom）
14日	男子秋の登山活動（尻別岳、男子8名、職員4名）
17日	函館児相来所（中2男子経過判定）、グループ会議 新規入所予定児童面会（函館）
18日	帯広児相施設連絡協議会、中3男子教育相談（北広島市）
19日	室蘭児相施設連絡協議会、法人運営会議、退所児童要対協（Zoom）
20日	全児心西田会長来所、旭川児相来所（小6女子移送）
21日	北大大学院実習（～10/30）
22日	高2女子実習送り（帯広）
23日	田中康雄先生診察日、中1男子一時保護移送（札幌） 中央児相来所（退所児童協議）
24日	グループ会議、釧路児相来所（小5女子面接）
25日	高2女子実習先訪問（帯広）
26日	BASE会議、基幹的職員研修会（札幌市） 函館児相来所（中2男子経過判定・協議）
27日	高2女子実習迎え（帯広）、一時保護児童面会（札幌）
30日	公用車タイヤ交換、給食委員会

	31日	ボイラーポンプ交換工事、グループ会議、一時保護児童面会（札幌）
11月	1日	ボイラ定期点検、事例検討会（オンライン）
	2日	苫小牧分室来所（中3女子面接）、中1男子一時保護終了迎え（札幌）
	6日	田中康雄先生診察日
	7日	全体会議、グループ会議
	8日	旭川児相来所（入所予定中2女子施設見学）
	9日	全児心生活部会（～10日、福岡）
	10日	研修「トラウマ・インフォームドケアの基本と実践」（オンライン） 防火管理者実務研修会（防災センター） 伊達高等養護学校学校祭（～11日）、セレナ車検
	11日	研修「精神科薬物療法看護～精神疾患に関する薬物療法とは」（オンライン）
	13日	中3女子2名進学予定学校見学（余市町）
	14日	職員インフルエンザ予防接種（～16日）、児相・施設交換研修（～16日、札幌）、全体会議、グループ会議
	16日	全児心北海道東北ブロック研修会（～17日、札幌）児童養護施設「唐池学園」（神奈川県）より施設見学
	19日	道養協道央支部研修会（Zoom）
	20日	児相・施設性暴力対応専門研修会（～21日、札幌） 田中康雄先生診察日、高田道議来所
	21日	法人運営会議
	22日	一時帰省児童移送（釧路）、中央児相来所（施設連絡協議会） 苫小牧分室来所（中3女子、小4男子面接）、誕生会
	26日	児相施設交換研修①（～28日）
	27日	BASE会議
	28日	グループ会議、札幌市児相来所（中1男子児童経過診）、釧路児相来所（小5女子面接）
	29日	内部研修（CAREプログラム、宮川先生・中央児相南部氏来所）、BASE会議
	30日	特定給食施設等栄養業務担当者研修会（振興局、半田） 小山教授SV
12月	3日	児相施設交換研修②（～5日）
	4日	田中康雄先生診察日
	5日	全体会議＆グループ会議、室蘭児相来所（小5男子面接）
	8日	小5男子要対協（リモート）
	10日	児相施設交換研修③（～12日）
	12日	道養協現任職員研修（～13日、札幌市）
	13日	貯水槽・貯湯槽清掃
	14日	小6男子要対協（リモート）
	15日	指導監査→指摘事項なし
	18日	田中康雄先生診察日、事例検討会（オンライン） 中2男子リモート協議、旭川児相来所協議
	19日	全体会議＆グループ会議
	20日	BASE会議、給食委員会
	22日	星の丘小中学校、伊達高等養護学校、室蘭養護学校 2学期終業式 札幌市児相来所（中3女子、中1男子面接）
	23日	クリスマス会
	24日	冬休み一時帰省（～1/7）
	25日	中2女子リモート協議（函館児相）
	26日	小6男子一時帰省送り（千歳）
	27日	中2男子一時帰省送り（函館）、高2女子一時帰省送り（帯広）
	28日	小6女子一時帰省送り（岩見沢）
	30日	小5女子家族交流（札幌）
1月	2日	男子初売り買物活動
	3日	女子初売り買物活動、男子夕食外食、女子夕食ティクアウト
	5日	中2女子家族交流（函館）
	10日	小5男子、小5男子一時帰省移送（旭川）、採用面接試験
	12日	小5男子一時帰省迎え（旭川）、中2女子家族交流（函館）、 小4女子一時帰省終了迎え（千歳）、入所検討児童施設見学（苫小牧分室）
	15日	伊達高等養護学校始業式、田中康雄先生診察日

16日	室蘭養護学校始業式、基幹的職員研修会（後期、オンライン） 中堅職員研修会（オンライン）
17日	星の丘小中学校始業式、中堅職員チームリーダー研修（オンライン） Support School Education
18日	濾過器定期点検
19日	星の丘小中学校学校運営協議会
22日	札幌市児相来所（小5女子面接）、中2女子一時保護移送（函館） 入所予定児童施設見学（中央児相）
23日	グループ会議
24日	事例検討会（オンライン）
25日	BASE会議、中3男子入学試験対応（～26日、雨竜）
26日	特別支援学校選考検査日、中2女子一時保護終了迎え（函館）
29日	田中康雄先生診察日、小5男子一時帰省送り（旭川）、給食委員会、誕生日会
30日	全体会議＆グループ会議、苫小牧分室来所（男子）
2月 1日	古紙回収、小5男子一時帰省終了迎え（旭川）
2日	入所予定児童リモート面会
4日	児相職員研修（～6日、釧路児相男性1名、室蘭児相男性1名）
6日	グループ会議
7日	道養協主催処遇改善加算研修（～8日、リモート）
8日	セブンイレブン来所寄附寄贈式
9日	旭川児相来所（中2女子、小6女子面接）、小5男子要対協（リモート）
13日	グループ会議
14日	特別支援学校合格発表、全児心施設長会（～16日、広島市）
15日	事例検討会⑧（リモート）
19日	田中康雄先生診察日、釧路児相来所（小6女子面接） 調理員採用面接、小6男子一時帰省移送（札幌）
20日	グループ会議、釧路児相来所（小5男子面接）
21日	小6男子一時帰省終了迎え、小6男子一時帰省送り（千歳市・南幌町）
22日	法人運営会議、小山教授SV、調理員採用面接、室蘭児相来所（小6男子面接）
25日	女子グループ冬の活動（スケート活動）
26日	BASE会議、SW実習（～3/1）
27日	全体会議、グループ会議、男子グループ冬の活動（スケート）
3月 1日	第2回胆振管内専門家チーム会議（オンライン） 札児来所（中1男子経過診）
2日	男子グループ冬の活動（スキー）
4日	田中康雄先生診察日
5日	公立高校入学試験（余市紅志高校2名、留寿都高校1名）、 全体会議、グループ会議
6日	振興局来所（職員聴き取り調査）
7日	テーマ別研修「子どもの声を聴く」（オンライン） 中1女子さん向陽学院施設見学（北広島） 釧路児相来所（児童面接）、旭川児相来所（小6女子）
8日	一時保護児童（小5女子）送り（札幌）、岩見沢児相来所（児童面接） 中3生卒業祝い食事会
9日	星の丘小中学校卒業式
11日	室蘭児相来所（児童面接）、中央児相来所（児童面接）
12日	グループ会議、振興局来所（職員聴き取り調査） 函館大谷短大職員施設見学
13日	苫小牧分室来所（職員面接）
14日	一時保護児童（小5女子）送り（旭川）、函館児相来所、第3回学校運営協議会
15日	消防設備点検、立命館大学修士生施設見学
18日	公立高校合格発表（3名合格）、田中康雄先生診察日、 釧路児相来所（中1女子フォローアップ面接）
19日	全体会議＆グループ会議、旭川児相来所（中1女子面接）
21日	男子要対協（Zoom）、理事会、北見児相来所（児童面接） 一時保護児童（中1男子）送り（札幌）

22日	星の丘小中学校、伊達高等養護学校修了式、一時保護児童迎え（札幌）
23日	電話装置入替工事
24日	春休み一時帰省
25日	室蘭養護学校修了式（～4/7予定）、一時保護児童送り（男子）（旭川）
28日	評議員会
29日	一時保護児童迎え（男子）（旭川）

②クラブ活動について

令和5年度に活動したクラブは、書道クラブと農業クラブで、主な活動は以下のとおりである。

書道クラブ

※不定期実施※ 計4回実施（9/1, 9/5, 9/6, 9/12）

第91回全国書画展覧会（広島県熊野町主催）に男子4名、女子6名が出品し、金賞2名、銀賞5名、銅賞2名の結果だった。

農業クラブ

今年度も男子と女子の2グループで種苗を購入し、畑を耕して、きゅうりやなす、ピーマンなどの野菜を育てた。収穫した野菜は、職員や学校教員も購入し、その売り上げの一部を使用して収穫祭を開催した。

③新型コロナウイルス感染症対応

入所児童は16名、職員は12名の感染があった。

その他、インフルエンザの感染は職員3名のみであった。

(3) 支援体制

- 支援課の具体的な取り組みについては、①グループ支援（男子グループ、女子グループ）、②年間行事、③心理治療、④日課と業務、⑤家族支援、⑥性教育委員会、⑦医療連携室の7カテゴリーに分類し、それぞれに計画を立案し、異職種協働を基本としてチームのなかで支援が展開された。それぞれのカテゴリーについては、各論として事業計画を立て、一年間を別に総括している。
- 子ども達の生活の安全を図るための取り組みについて、確認方法等の具体的な検討を続けた。

(4) 施設組織体制

①職員配置状況（令和6年3月31日現在）

	定数	現員数	備考
施設長	1	1	
医師	1	2(2)	
看護師	1	1	
事務員	1	2	
家庭支援専門相談員	1	2	1名加算
個別対応職員	1	1	
児童指導員	13 (3:1) 12-11 (3.5:1)	13	
保育士	10 (4:1) 9 (4.5:1)	1	
心理療法担当職員	4 (10:1)	4	加算なし
栄養士	1	1	
調理員等	4	5	
清掃員		2(2)	
施設管理員		2(2)	
計	29	37(6)	

②各種会議の実施

会議名	頻度	構成
課長会議	週1回	施設長、支援課長、医療連携室長、総務課長
主任会議	週1回	支援課長、各グループ主任
各グループ会議	(休校日を除く)	各グループ職員
全体会議	月1～3回	原則、全職員
性教育委員会	月1～3回	児童指導員、心理士、看護師
給食委員会	月1回	施設長、総務課長、支援課長、管理栄養士、調理員、支援課勤務者
感染症対策委員会	必要都度	施設長、支援課長、医療連携室長、総務課長
BASE会議	月1回	星の丘小中学校 校長、教頭 バウムハウス 施設長、支援課長、総務課長
実務者会議	月1回	星の丘小中学校 バウムハウス グループ主任
入所前カンファレンス	都度	伊達市教育委員会、星の丘小中学校、バウムハウス
登校後カンファレンス	都度	伊達市教育委員会、星の丘小中学校、バウムハウス

(5) 職員研修実績

新型コロナの影響によりオンラインもしくはハイブリッド形式の研修が多くなったこともあり、これまで以上に積極的な研修の参加となった。また、児童相談所主催の研修に参加したり、交換研修を実施したりとこれまでにない機会を得ることも出来た。児童相談所の業務を知ることはもちろんのこと、児相職員にも福祉施設の実態を知ってもらう機会にもなった。

研修名	時期	場所	参加者
全児心関連、子どもの虹関連			
第1回施設長会	5/18～19	横浜	施設長
第2回施設長会	2/15～16	広島	施設長
職員研修会	9/12～13	埼玉県熊谷市	施設長、児童指導員2名
指導者研修（合同研修）	5/18	Zoom	主任児童指導員
指導者研修	9/13～14	横浜市	主任児童指導員
心理担当職員合同研修	7/13	オンライン	主任心理士
新任職員研修	10/5～6	横浜市	保育士
生活部会	11/9～10	福岡県	児童指導員
北海道東北ブロック研修会	11/16～17	札幌市	施設長、児童指導員他2名
中堅職員チームリーダー研修	1/17	オンライン	FSW
中堅職員研修会	1/16	オンライン	FSW
施設職員事例検討会	6/8～9 7/14、8/9、 9/20、10/4 11/1、12/18 1/24、2/15 計8回 3/21～22	横浜 オンライン 横浜	支援課長
全社協、道社協関連			
施設職員スキルアップ講座 (管理職編)	5/8～6/8	On-Demand	総務課長
道養協関連			
北海道児童養護施設協議会職員研修会	今年度は実施せず		
現任研修	12/12～13	札幌	児童指導員
中央支部研修会	11/19	オンライン	保育士
処遇改善加算研修	2/7～8	オンライン	FSW、個別対応職員
北海道			
基幹的職員研修	前期 10/26 後期 1/16	札幌 オンライン	児童指導員
北海道児童相談所・児童福祉	4/17～18	札幌	心理士2名

施設心理職員合同研修会			
北海道児童相談所・児童福祉施設職員合同研修会	5/29～30	札幌	支援課長、児童指導員2名
児相交換研修	11/14～16	札幌	FSW、心理士
児相・施設 性暴力対応専門研修会	11/20～21	札幌	支援課長、心理士
その他			
チャボゼミ研修	⑤9/20	オンライン	保育士、児童指導員
WISC-V 研修会	7/15, 16	札幌	心理士
児童心理臨床セミナー開催	8/4	オンライン	支援課長、心理士
トラウマ・インフォームドケアの基本と実践	11/10	オンライン	医療連携室長
精神科薬物療法看護～精神疾患に関する薬物療法とは	11/11	オンライン	医療連携室長
防火管理者実務研修会	11/10	伊達消防	総務課長
<hr/>			
内部研修	時期	講師	参加者
性教育委員会	6/20	中田 知穂	※全体会議中
研修報告会	①7/4②9/4		※全体会議中
グループワーク研修	①7/4		
小山教授 SV	①6/15 ②9/14 ③11/30 ④2/22	小山教授	心理グループ
CARE プログラム	11/29	宮川先生、中央児相南部	20名

(6) 修繕・整備

子どもの安全な生活を守るために住環境整備、また働きやすい職場環境整備等のために、必要に応じた対応策を講じた。今年度は、治療棟では非常灯や誘導灯の交換工事を行ない、体育館では傷んだステージ壁や天井の修繕工事と行なっている。
竣工から20年近くとなるため、今後も施設の要修繕箇所を確認しながら計画的な修繕を行なっていく必要がある。

①令和5年度の修繕・整備の実施状況

当初計画によるもの

修繕内容	時期	進捗状況
非常灯交換	一部を除いて実施済	材料費 1,185,108円（税込） ※H29 見積時 216万円（税込）
体育館ステージ壁修繕	3月最終週	約 50万円→18.5万円（税抜）
外調機コイル入替工事	10/13	136万（税抜）
家族療法棟水抜栓工事	4/11	11.6万（税抜） 実施済

計画外修繕

実施日	修繕内容等	費用等
5/12	1階男子浴槽濾過器弁交換修理	88,000円（税抜）
10/31	循環ポンプ交換修理	35.5万円（税抜）
1/22	機械室内配管工事	10.8万円（税別）
3月最終週	体育館軒桶修繕工事	50.5万円（税別）
3/23	電話設備更新工事	80万円（税別）

②令和5年度に修繕・整備を持ち越して予定するもの

4月予定	庇設置工事（5箇所）	10万円（税別）
------	------------	----------

④中長期修繕・整備計画及び実績

修繕箇所	修繕内容	目標	備考
------	------	----	----

本体	外壁（塗替え）	長期	要計画
	男子児童用トイレ（排水）	中期	
体育館	屋根、外壁	長期	要計画
グラウンド	土	長期	
その他設備等	厨房機器設備	長期	
	ガスボイラー設備	中長期	
	電気設備	中短期	

(7) 事業収支

別紙の決算報告書を参照

(8) その他の報告

①寄贈等について

4月 30日	イオン伊達店	幸せの黄色いレシートキャンペーン (26,100円のギフトカード)
5月 26日	ヴィクトリア伊達店	水、お菓子
7月 21日	セブンイレブン	お菓子
8月 25日	ヴィクトリア伊達店	水、お菓子
10月 3日	ヴィクトリア伊達店	水とお菓子
12月 13日	ヴィクトリア伊達店	水とお菓子
22日	セイコーマート	Xmas ケーキ
2月 8日	セブンイレブン	お菓子
13日	ヴィクトリア伊達店	水とお菓子

②理事長決裁による契約（物品購入等）

契約名（工事名）等	契約（発注）先	費用（税抜）
外調機コイル入替工事	サガ工設備	1,360,000円
1階男子浴槽濾過器弁交換修理	ショウエイ北海道	88,000円
パソコン購入（デスクトップ3台、ノート1台）	富士通	347,000円
ボイラーリンクポンプ交換工事	サガ工設備	355,000円
浴槽用濾過器定期点検	ショウエイ北海道	230,000円
タイヤショベル定期点検	時田自工	63,635円
公用車セレナ車検	北海道日産	242,318円
公用車シエンタ修理（フロントガラス交換）	札幌トヨタ自動車	139,117円
自動車リース継続契約（セレナ）	トヨタレンタリース札幌	20,000円/月
複合機再リース契約	三菱HC ビジネスリース	20,160円/年
Zoom 継続契約	NEC	33,800円/年
食器洗浄機基板交換工事	タニコー	116,000円
機械室内配管工事	サガ工設備	108,000円
体育館軒桶修繕工事	平口建設	505,000円
体育館ステージ壁修繕工事	平口建設株式会社	185,000円
火災保険契約	東京海上日動火災保険	840,390円/年
電話システム更新工事	NEC プラットフォームズ	800,000円

③補助金及び助成金について

- 令和5年度の補助金等申請は3件で、全て物価高騰対策に関連するものであった。

補助金名等	交付元	補助金額等
食材費高騰対策支援金	伊達市	375,000円
医療社会福祉施設等物価高騰対策支援金	北海道	500,000円
医療社会福祉施設等食材料費支援事業	北海道	320,000円

- 今年度も、道民歳末たすけあい運動の助成金5万円を頂き、クリスマス会で活用させて頂いている。

④職員の労災・事故等

今年度はなかった。